

黒木西

黒木西小
学校だより

文書:校長 齋藤英義
令和4年1月11日(火)

NO.19



夜明け前

新年

明けまして

おめでとう

ごきげんよう

今年の十二支は、寅」とら」

寅は十二支の3番目と言われている。植物の状態に例えると、一番目の子(ね)年は、新しい命が種の中で芽生えはじめることを表すとされている。2番目の丑(うし)年には種の中で育つがまだ伸び始めではない状態です。3番目の寅(とら)年は、やっと根や茎が成長し、草木が伸び始める状態だとされています。



ヒデトラ

物事が新しく動き始めるというイメージがあります。

黒木西小学校の児童の皆さんは、新年を迎え、どんな目標を立てたのでしょうか。これまで頑張ってきたことについて気持ちを新たに作り組むのか、または、新しいことにチャレンジするのか、どんな皆さんのことも、黒木西小学校の先生たちは全力で応援していきます！

ところで、感染対策を施した上での、全国的な人の動きが活発化した年末年始。それだけが原因かどうかはわかりませんが、コロナ感染者が増加しつつあり、予断を許さない状況が続いております。

そんな中、本日後期後半がスタートしました。『いつの間にか過ぎていく一月 逃げるように過ぎていく二月 去るように過ぎていく 三月』と言われるように、この三ヶ月は特に月日

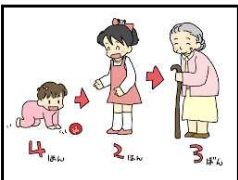


のたつのが早く感じられます。実際、子どもたち(1〜4年生)が登校してくる日は、今日を含めて49日(5年生は50日・6年生は47日)です。

そのように短く、厳しくなっていく状況のコロナ禍の中、後期後半をどのように過ごし、どのように次の学年へと繋いでいくのか。はそれこそ学校だよりNo.18の「Time is Money」にも書いておりましたが、**時間の有効活用**ができるようにがんばって欲しいと思います。

さて、突然ですがなぜなのでしょう。「朝は四本足、昼は二本足、夕は三本足、この生き物はなあに?」

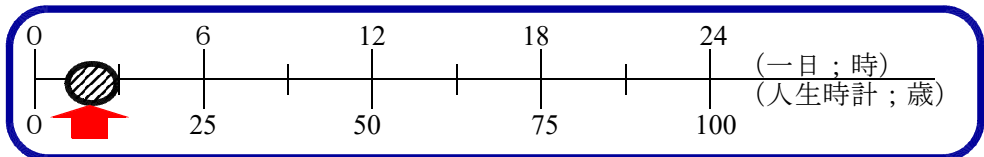
答えは、「人間」。赤ん坊の頃は四つん這い、次に二本足で立ち、老人になると杖をつけて三本足になる、ということ。人間の一生を一日に例えたものです。つまり、遠い昔から、人間の一生を一日に例えるという考え方がありました。



最近では「人生時計」という例え話があり、聞いたことがある方もいらっしゃるでしょう。

今、日本人の平均寿命は80歳を超えています。また、厚生労働省では人生100年時代を見据え、「人生100年時代構想会議」なるものが設置されているとか。子どもたちが大人になる頃には、100歳の方々がもっと増えることになるのでしょうか。

そんなことを考えながら「人生時計」なるものを考えてみました。上の図のように一日24時間を、人の一生100歳に置き換えるのです。子どもにもあてはめてみます。小学生は6〜12歳ですので図の赤矢印のところということになります。まだ午前3時前あたりになります。まだまだ「夜明け前」です。その一日を元気に過ごすために、十分な睡眠をとり、じっくりとエネルギーを蓄えているところということになりま



私たちが、「この年齢ではこれができていなければいけない」、「この年までにはこれをさせましょう」というたくさんの情報を、それこそ子どもが生まれる前から日常的に聞かされています。情報と比べ少しく違っていると、「まだこんなこともできていない」、「このままで大丈夫なんだろうか?」というような不安な気持ちになり、結果、子どもを追い立てることになってしまいます。

今、子どもたちに大切なことは、不安がることなく、「これから子どもたちの人生は始まる」という期待と希望に満ちた、「前向きな姿勢をもつこと」だと思っています。

私自身の反省も込めて、もう一度「子どもはまだ『夜明け前』。これから素晴らしい人生が始まる」ということを意識し希望や夢を持たせたいと思います。

お父さん、お母さん方、今、ご自分の年齢がどのあたりにあるかわかりますか? 私は、3時のおやつを楽しみに、仕事の気合を入れ直しているところ(かな?)。



Good!

☆ 子どもは
まだ「夜明け前」
これから始まる
のです。

※これは景の一例です。
①くし耕②つら③こが
らし④年越し⑤みぞれ⑥
もち⑦ケリ⑧マ⑨しめ
かざり